

平成31年度神戸大学後期日程 入試問題『出題の意図・評価ポイント』

小論文（文学部）

※1 この『出題の意図・評価ポイント』についての質問、照会には一切回答しません。

※2 配点（素点）は入試問題に記載してあります。

なお、本学入学者選抜のための教科・科目ごとの配点については、平成31年度神戸大学学生募集要項を参照してください。

【出題の意図・評価ポイント】

人文学系の長文を限られた時間内に読み解き、考え、そして表現する能力を問うことをねらいとしている。

問一 問題文中で「知識」「知性」が示している対照的な内容を正確に読み取り、それを簡潔に説明することを求めている。基礎的な読解力の有無と日本語表現の正確さに注目して評価した。

問二 著者によると、まず「霧」という自然現象は「知識」の不完全さを明るみに出すものである。またそれは人間のもっとも高度な要求とは、真理を隠しているものを正しく見つめることにより達成されるということを示してもいる。こうして、人間のつくり出した法の絶対性や不変性を疑義に付すことにより、知性を求める人間の自由の象徴ともなる。こうした「知性」の新しい働きとの関連において、問題文中において「霧」がいかに使われているかを確実に読み取り要約することを求めている。発展的な読解力の有無と日本語表現の正確さに注目して評価した。

問三 以上で考察された「知識」／「知性」、また「霧」という用語が示す内容を踏まえた上で、自らの経験やこれまでの議論・事例などを挙げ、さらに自分の考えを説得的かつ論理的に展開することを求めている。やや難解な議論を具体的なレベルに引きつけて理解する能力と、自らの考えを表現する際の論理的構成能力と文章表現力に注目し、総合的に評価した。